

平成28年6月1日

陳情第67号

小田原市職員に対し服務規律を順守することを求める陳情

小田原市職員に対し服務規律を順守することを求める陳情

【陳情趣旨】

平成28年5月24日午前8時50分頃、小田原市役所本庁舎内の館内放送が小田原市職員に対し呼びかけを行いました。記憶によれば『市長が新しい任期の初登庁に臨まれます。仕事に支障の無いよう、時間がある方は2階ロビーに集まってください。』

小田原市職員の勤務時間は午前8時30分から午後5時15分と定められていて、その時間の中で、所定の休憩をとることができます。

しかし、始業からわずか20分経過した時に休憩をとる職員がいるはずもなく、この時間帯は職員として職務に専念する義務を負っている時間帯です。

勤務時間中であるにもかかわらず館内放送によって集合した多数の職員によって2階ロビーが埋め尽くされた光景は、同日10時から開会予定の小田原市議会5月臨時会に臨もうとしている、小田原市議会議員の方々も目撃されたはずです。

平成28年5月24日付「市長の日記」にもこのように記されています。

『爽やかな日和に恵まれた24日、市長任期の3期目がスタートしました。

朝、日頃熱心に支援いただいている市民の皆さんに見送られ、市役所正面玄関より庁舎内へ。2人の女子職員から頂いたとても立派な花束を抱え、大勢の職員たちの拍手を受けながら、市長室へと進みました。

その後、大会議室にて初登庁式。「持続可能な地域社会モデルの実現」を目指そうと、私の率直な想いを語らせていただき、小田原にとって、そして日本にとって極めて大切なこの4年間、共にチャレンジしていきたいと呼びかけました。市民の皆さんに託していただいた思いをしっかりと受け止め、課題解決や地域社会モデルづくりに、バリバリと取り組んでいく所存です。』

(引用ここまで)

市長が手にした2つの立派な花束の一つは公費で購入したものです。もう一つは花屋が提供してくれたものです。つまり、公費で購入した花束を勤務時間中に勤務を放棄した職員が集合した場所で受け取ったということです。

勤務に精励すべきことを職員に求めるべき任命権者・監督者たる市長と多くの職員が、勤務時間中に職務専念義務違反を犯していた事実は、小田原市議会として看過すべきことではありません。

敢えて小田原市職員の失態と指弾いたします。これを放置すれば、小田原市役所全体の緊張感が失われ、職務に少なからず影響を及ぼす事態が発生する原因ともなりかねません。

市長以下、全職員は、公務の場においては公務員たる自覚を堅持し、市民の模範となられることを認識されるべきです。小田原市議会は、改めて小田原市職員が公務員としての服務規律を順守することを求めねばなりません。

【陳情項目】

小田原市議会として、市長をはじめとする、すべての小田原市職員に対し、職員としての服務規律を順守するよう注意喚起すること。

平成28年6月1日

小田原市議会議長

武松 忠 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞